



第31回(平成19年度)

久留米市民意識調査 報告書《速報版》

 水と緑の人間都市・久留米

はじめに

現在、国も地方自治体も大きな転換期を迎え、「改革」という言葉抜きでは語れない時代になっています。「少子高齢化」「人口減少」「高齢者福祉」などの課題に直面する自治体は、限られた財源と資源をいかに活用し、どのように住民サービスの向上を図るか、その手腕が問われています。

本市におきましても、平成 17 年 2 月に広域合併を実現し、平成 20 年に中核市を目指して取り組みをすすめています。また、平成 17 年に「久留米市新行政改革行動計画」を策定し、徹底した効率化、合理化に取り組み、行政運営に努力しているところです。

しかしながら、市民の皆さんの「安心で、活力にあふれる生活」の実現のためには、行政だけではなく、「市民と行政の協働によるまちづくり」が不可欠です。そのためにも、市民の皆さんと行政の相互理解、信頼をより強固なものとし、共に汗を流し、共に行動しながらまちづくりをすすめていくことが大切であると考えています。

この「市民意識調査」は、市民の皆さんの意識や意向を、統計的、科学的に把握し、その重要性や緊急性、対策・施策の必要性を明らかにし、的確に市政運営に反映させるための、非常に重要な調査で、昭和 52 年から実施しています。今回は、「行政施策」「地域活動」「広報」「地域情報化」などについて調査を実施しました。この調査結果は、それぞれの具体的な計画や施策の検討の基礎資料として、活用させていただきます。

この冊子は、単純集計したデータを「速報版」としてまとめたものです。来年 3 月には調査報告書を作成し、公開する予定です。

最後になりましたが、今回の調査にご協力いただきました市民の皆様をはじめ、関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

平成 19 年 9 月

久留米市長 江 藤 守 國

目 次

調査のあらまし	2
主な調査結果	4
1. 行政施策	4
2. 地域活動	8
3. 広 報	14
4. 地域情報化	20
調査対象者の構成	24

調査のあらまし

調査の結果は、いろいろな事業の計画づくり等に活用します

(1) 目的

市民意識調査は、今後の市政運営の基礎資料を得るために毎年実施しているものです。

今回の意識調査は、主に 行政施策 地域活動 広報 地域情報化 という4つのテーマについて実施しました。

行政施策

「久留米市新総合計画」で指標とする項目など33項目を調査しています。「重要度」と「満足度」の調査で、より科学的に市民の皆さんの意識、意向を把握できるように努めています。

地域活動

地域活動への参加状況や意識などについての現状を把握し、今後の方向性の検討に活用します。

広報

「広報くるめ」の市民の皆さんの閲読度、活用度、満足度などを伺い、現状における評価や課題などを把握し、今後の編集方針や方向性などに反映させ、市民サービスの向上に努めます。

地域情報化

本市における情報化の進展についての現状把握と、電子市役所構築に向けての市民ニーズや意向を把握するとともに、情報通信の今後の方向性の検討に活用します。

(2) 調査方法

調査地域	久留米市全域
調査対象者	久留米市に在住する満20歳以上の人
サンプル数	2,500
抽出方法	住民基本台帳からの二段無作為抽出法
実査方法	調査票を郵送し、回収は調査員が行う郵送法併用の留置法 (調査票は封筒に封入したものを回収)
実査期間	平成19年7月11日～7月22日
回収数(率)	2,248票(89.9%)
調査の企画と実施	企画 久留米市企画財政部 広報広聴課 実施 西日本新聞社総合メディア本部メディアマーケティング部
調査結果の分析者	古賀 倫嗣(熊本大学教育学部教授)

今後の予定……平成20年3月に、調査結果を詳しく分析した調査報告書を刊行し、「広報くるめ」などで調査結果の概要などをお知らせする予定です。

(3) 地域別サンプル構成

ブロック		校区	配布数	有効回収数	有効回収率
東部	(旧久留米市)	山川	50	43	86.0%
		山本	30	29	96.7%
		草野	20	20	100.0%
		善導寺	60	54	90.0%
		大橋	20	17	85.0%
	(旧田主丸町)	船越	20	19	95.0%
		水分	20	19	95.0%
		柴刈	20	17	85.0%
		川会	20	17	85.0%
		竹野	20	16	80.0%
北部	(旧久留米市)	水縄	20	19	95.0%
		田主丸	50	45	90.0%
		小森野	30	25	83.3%
	(旧北野町)	合川	110	94	85.5%
		宮ノ陣	80	77	96.3%
		北野	70	63	90.0%
		弓削	20	16	80.0%
		大城	40	32	80.0%
		金島	20	16	80.0%
		西国分	130	119	91.5%
東国分	100	91	91.0%		
御井	80	74	92.5%		
中央東部	上津	130	116	89.2%	
南東部	高良内	80	74	92.5%	
中央部	青峰	30	28	93.3%	
	荘島	40	32	80.0%	
	日吉	40	35	87.5%	
	篠山	50	45	90.0%	
	京町	50	45	90.0%	
	南薫	90	77	85.6%	
中央南部	長門石	60	56	93.3%	
中央南部	鳥飼	80	67	83.8%	
	金丸	100	86	86.0%	
	南	140	128	91.4%	
南西部	津福	100	92	92.0%	
	荒木	110	102	92.7%	
	大善寺	70	64	91.4%	
西部	(旧城島町)	安武	50	46	92.0%
		城島	40	37	92.5%
		下田	10	9	90.0%
	(旧三瀬町)	青木	30	24	80.0%
		江上	30	28	93.3%
		浮島	10	10	100.0%
		犬塚	50	47	94.0%
三瀬	50	49	98.0%		
西牟田	30	29	96.7%		
合計		2,500	2,248	89.9%	

ブロック別	配布数	有効回収数	有効回収率
東部	350	315	90.0%
北部	370	323	87.3%
中央東部	310	284	91.6%
南東部	240	218	90.8%
中央部	330	290	87.9%
中央南部	420	373	88.8%
南西部	230	212	92.2%
西部	250	233	93.2%
合計	2,500	2,248	89.9%

旧市町別	配布数	有効回収数	有効回収率
旧久留米市	1,930	1,736	89.9%
旧4町	570	512	89.8%
旧田主丸町	170	152	89.4%
旧北野町	150	127	84.7%
旧城島町	120	108	90.0%
旧三瀬町	130	125	96.2%
合計	2,500	2,248	89.9%

主な調査結果

1. 行政施策

(1) 施策の重要度・満足度

重要度得点が最も高い「消防・救急救命対策」は、満足度でも第1位となっています。

問1 久留米市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、次の(1)～(33)の市の取り組みについておたずねします。
 (A) あなたは、この取り組みがどの程度重要だと思いますか。
 (B) あなたは、この取り組みにどの程度満足していますか。
 それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び、番号に印をつけてください。

重要度・満足度の得点化の手順

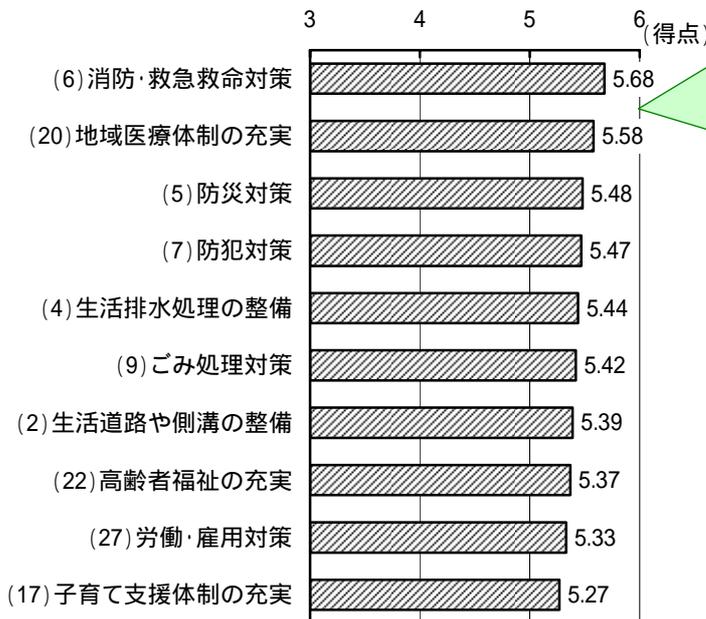
重要度	得点	満足度	得点
1. 重要	6点	1. 満足	6点
2. やや重要	4点	2. やや満足	4点
3. あまり重要でない	2点	3. やや不満	2点
4. 重要でない	0点	4. 不満	0点
5. わからない (無回答)	欠損値 (得点計算の対象外)	5. わからない (無回答)	欠損値 (得点計算の対象外)

33 項目の行政施策に対する評価を得点化し、分析を行っています。

$$\text{重要度(満足度)得点} = \frac{(\text{選択肢1}) \times 6 + (\text{選択肢2}) \times 4 + (\text{選択肢3}) \times 2 + (\text{選択肢4}) \times 0}{(\text{選択肢1} \sim \text{選択肢4の回答者数})}$$

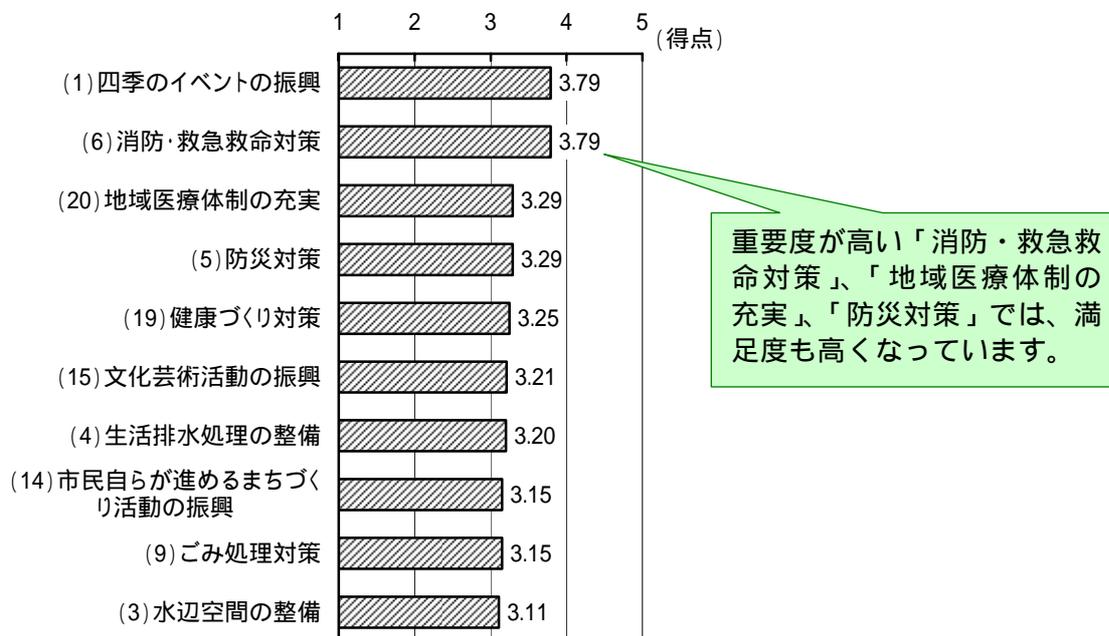
例えば、仮に全員が「2. やや重要」を選んだ場合、その施策の重要度得点は4点となります。

重要度が高い10の取り組み

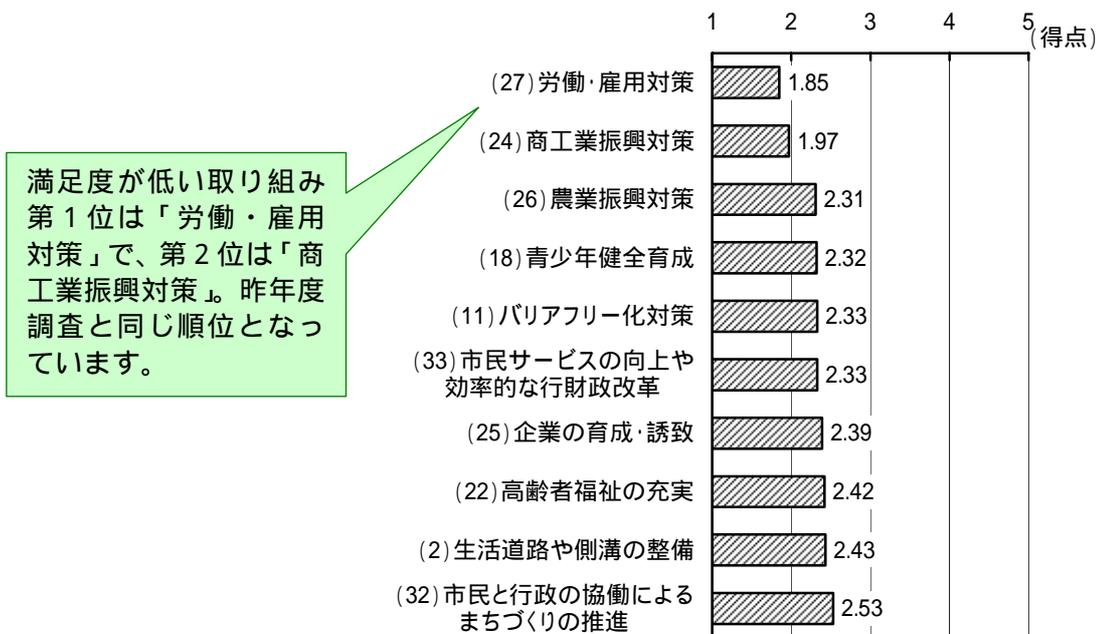


重要度では「消防・救急救命対策」が第1位。以下「地域医療体制の充実」、「防災対策」、「防犯対策」と、『市民生活の安全・安心』にかかわる取り組みが続いています。

満足度が高い10の取り組み



満足度が低い10の取り組み



(2) 重要度・満足度の前年比較

満足度トップ3は、「四季のイベントの振興」、「消防・救急救命対策」、「防災対策」で、昨年度と変わっていません。

行政施策の重要度・満足度

重要度				項目	満足度			
重要度 得点	順位	H18 得点	H18 順位		満足度 得点	順位	H18 得点	H18 順位
4.31	26	4.44	26	(1)四季のイベントの振興	3.79	1	3.88	1
5.39	7	5.37	7	(2)生活道路や側溝の整備	2.43	25	2.68	21
4.87	18	4.96	18	(3)水辺空間の整備	3.11	10	3.08	11
5.44	5	5.52	4	(4)生活排水処理の整備	3.20	7	3.21	8
5.48	3	5.44	6	(5)防災対策	3.29	3	3.45	3
5.68	1	5.69	1	(6)消防・救急救命対策	3.79	1	3.77	2
5.47	4	5.59	2	(7)防犯対策	2.69	21	2.65	23
4.99	17	5.04	14	(8)環境美化対策	3.04	11	3.14	10
5.42	6	5.45	5	(9)ごみ処理対策	3.15	8	3.33	4
4.47	25	4.63	22	(10)公園や広場の整備・充実	2.95	15	2.90	17
5.00	16	4.98	17	(11)バリアフリー化対策	2.33	28	2.34	28
4.74	20	4.73	21	(12)基本的人権確立施策の充実	3.00	13	3.08	11
4.19	28	4.25	29	(13)男女共同参画社会づくり施策の充実	2.98	14	2.91	14
4.26	27	4.28	27	(14)市民自らが進めるまちづくり活動の振興	3.15	8	3.15	9
3.94	31	4.06	31	(15)文化芸術活動の振興	3.21	6	3.24	6
4.16	29	4.27	28	(16)スポーツ・レクリエーション推進体制の充実	3.04	11	2.93	13
5.27	10	5.36	8	(17)子育て支援体制の充実	2.54	23	2.46	27
5.26	11	5.31	9	(18)青少年健全育成	2.32	30	2.31	29
5.15	13	5.24	12	(19)健康づくり対策	3.25	5	3.25	5
5.58	2	5.53	3	(20)地域医療体制の充実	3.29	3	3.24	6
5.12	14	5.14	13	(21)障害者福祉の充実	2.79	19	2.75	20
5.37	8	5.29	10	(22)高齢者福祉の充実	2.42	26	2.52	25
4.58	23	4.59	24	(23)広域幹線道路の整備	2.66	22	2.66	22
4.62	22	4.62	23	(24)商工業振興対策	1.97	32	2.11	32
4.55	24	4.50	25	(25)企業の育成・誘致	2.39	27	2.28	31
5.08	15	5.01	16	(26)農業振興対策	2.31	31	2.30	30
5.33	9	5.28	11	(27)労働・雇用対策	1.85	33	1.91	33
4.11	30	4.12	30	(28)大学や研究機関の整備	2.90	17	2.86	18
3.77	33	3.66	33	(29)観光・コンベンションの振興	2.71	20	2.78	19
4.77	19	4.76	19	(30)公共交通網の整備	2.91	16	2.91	14
3.89	32	3.89	32	(31)高度情報都市づくり	2.82	18	2.91	14
4.72	21	4.75	20	(32)市民と行政の協働によるまちづくりの推進	2.53	24	2.55	24
5.16	12	5.02	15	(33)市民サービスの向上や効率的な行財政改革	2.33	28	2.49	26
4.85		4.87		【全体平均】	2.82		2.85	

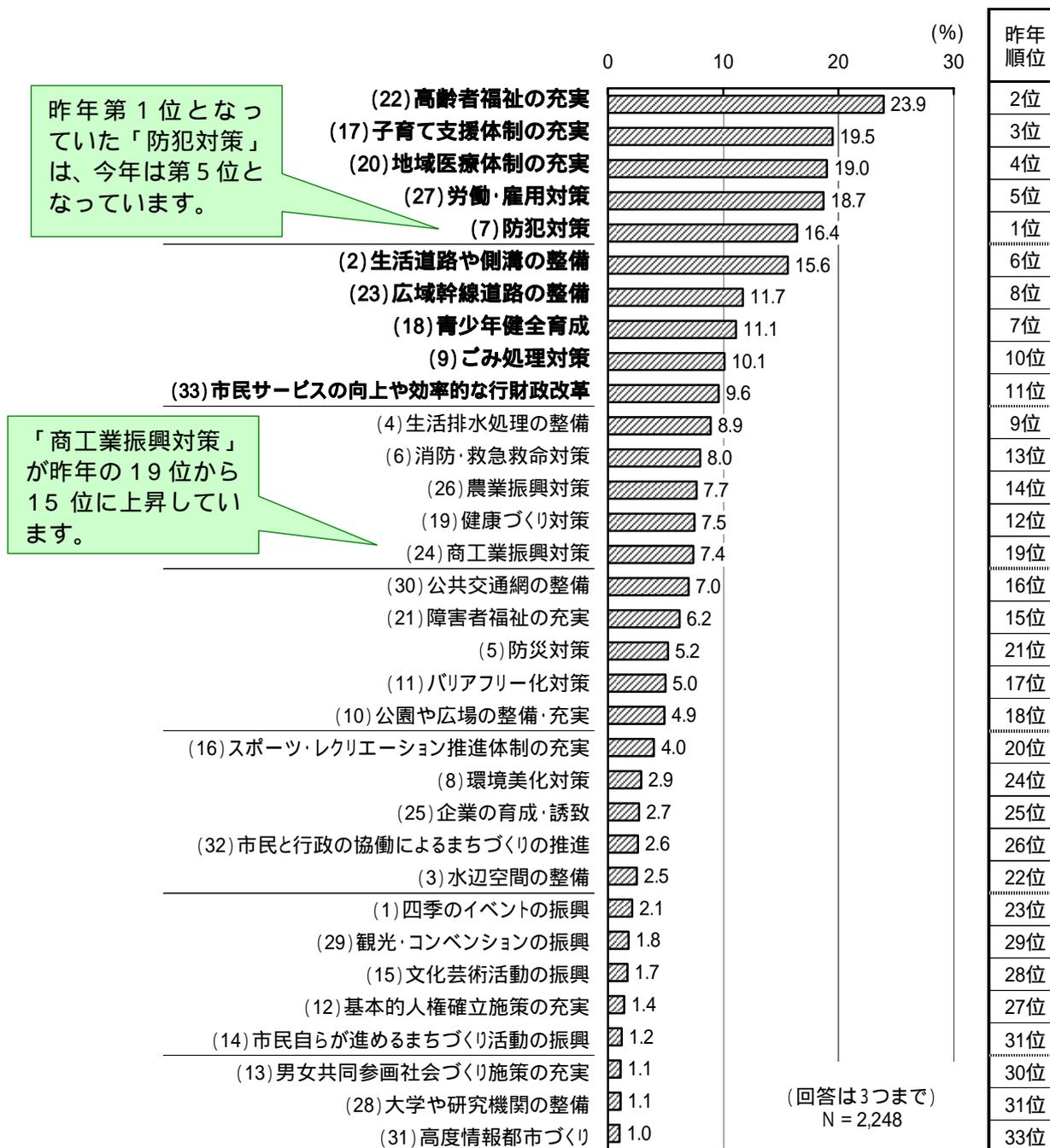
は、重要度、満足度、不満度の上位3位

(3) 特に力を入れて欲しいこと

「高齢者福祉」、「子育て支援体制」、「地域医療体制」の充実を求める声が増えています。

問2 問1で聞いた(1)～(33)の行政施策の中で、「特に力を入れて欲しいもの」を3つまで(1つでも2つでもよいです)選び、その項目の番号を下の□内に記入してください。

特に力を入れて欲しい行政施策

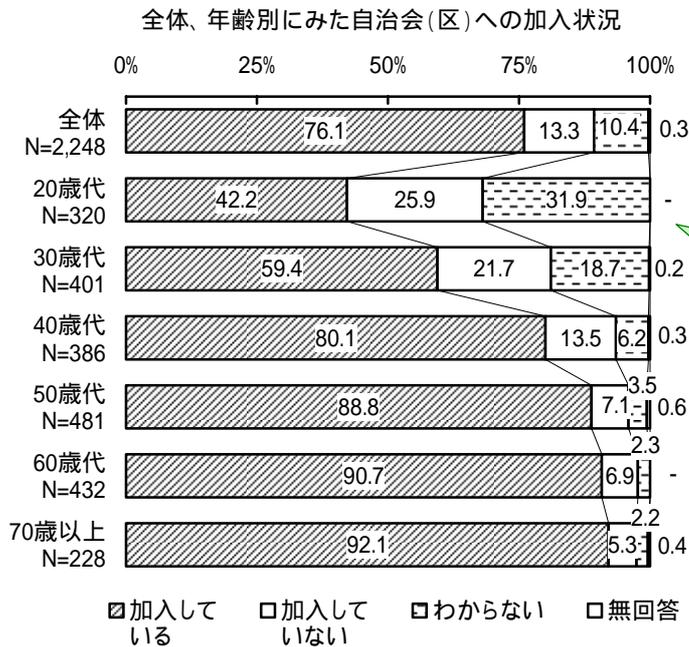


2. 地域活動

(1) 自治会(区)への加入状況

自治会(区)加入者は全体の約4分の3。
加入してよかったこととして「情報が手に入る」、「親交が深まる」といった声が多く寄せられています。

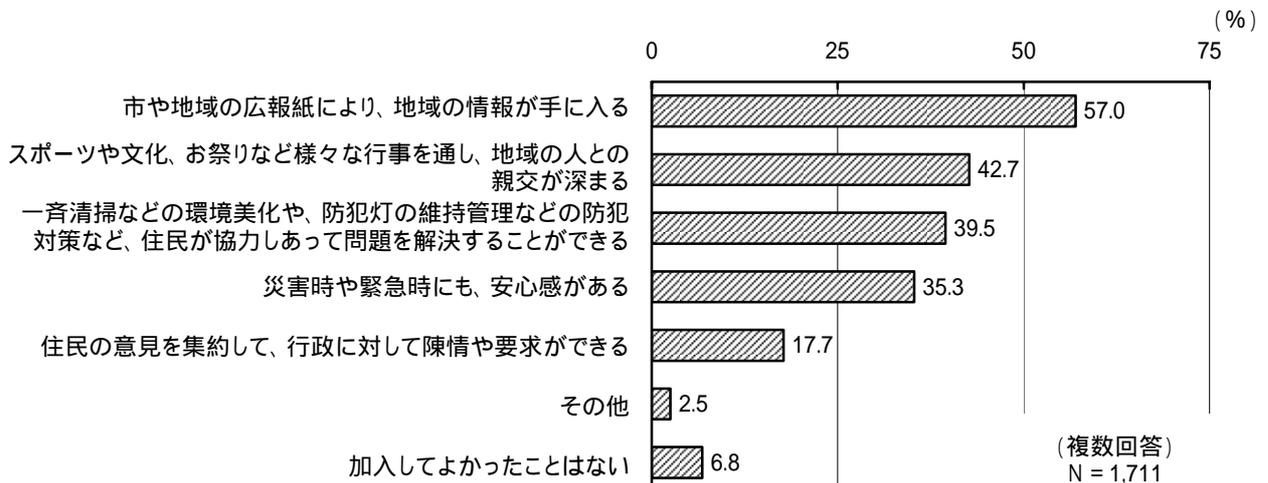
問5 あなたは、自治会(区)に加入していますか。(あてはまる番号に1つだけ印)



20歳代の約3割、30歳代でも約2割は、「わからない」と回答しています。

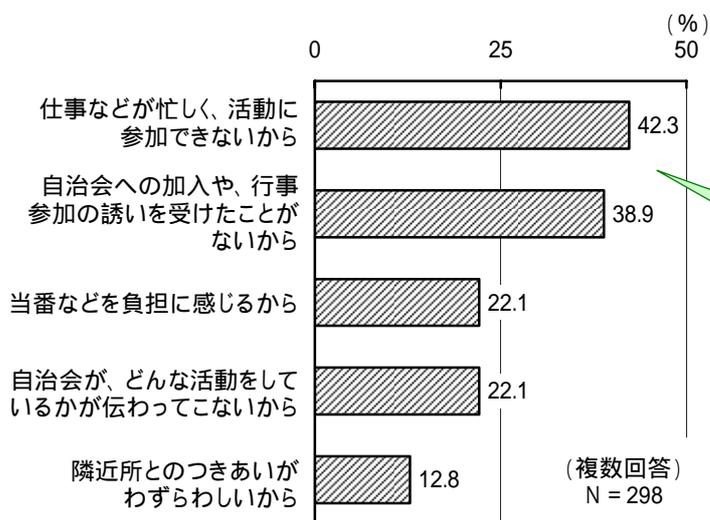
問5で、「加入している」と答えた方に

付問1 自治会(区)に加入していて、よかったと思うことは何ですか。次の中から、あてはまるものをいくつでも選び、番号に印をつけてください。



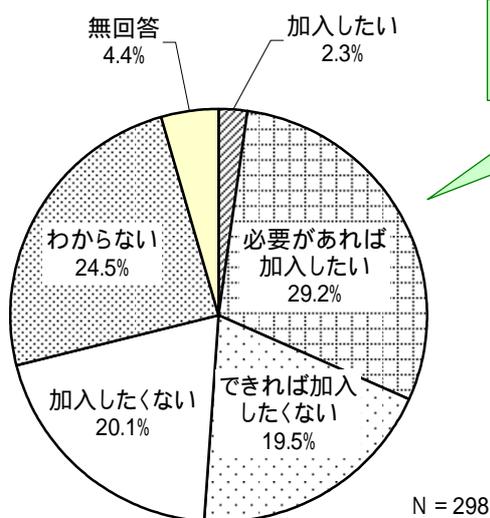
問5で、「加入していない」と答えた方に

付問2 自治会（区）に**加入していない理由**は何ですか。次の中から、あてはまるものをいくつでも選び、番号に 印をつけてください。



加入していない理由としては「忙しい」、「誘いを受けたことがない」の割合が高くなっています。

付問3 あなたは**今後、自治会（区）に加入したい**と思いますか。
(あてはまる番号に1つだけ 印)

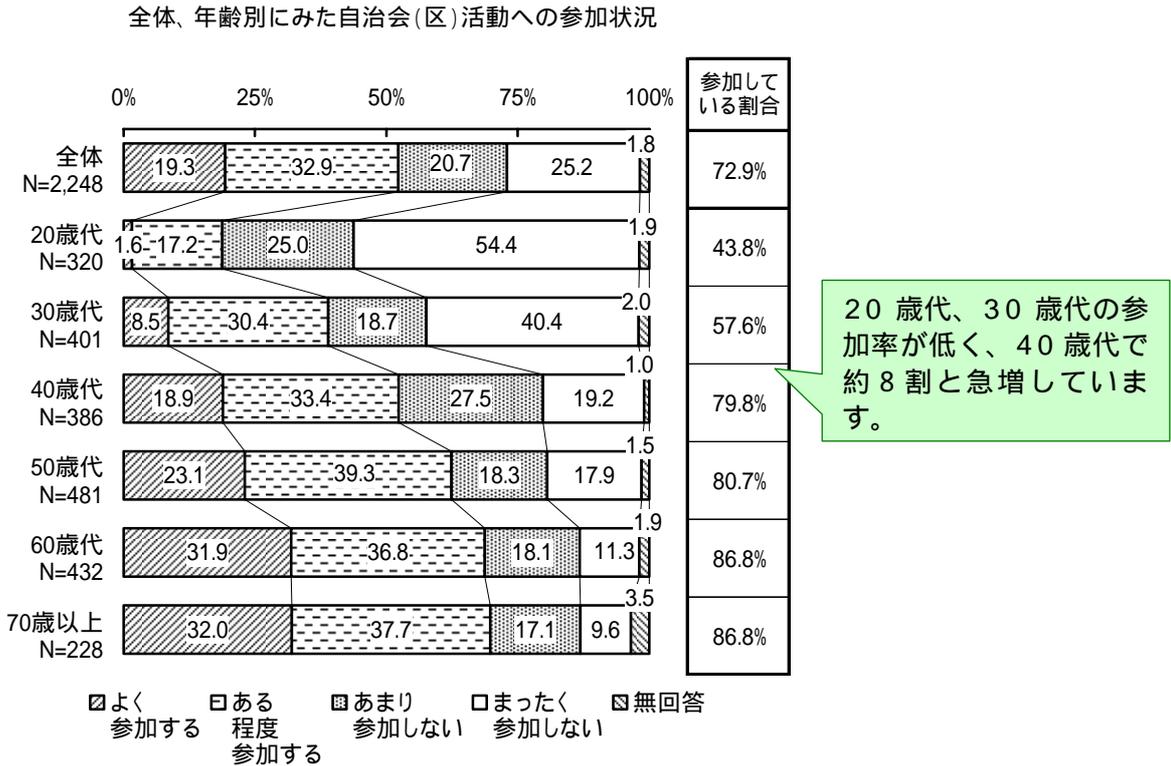


自治会(区)未加入者も、約3割が加入の意思をもっています。

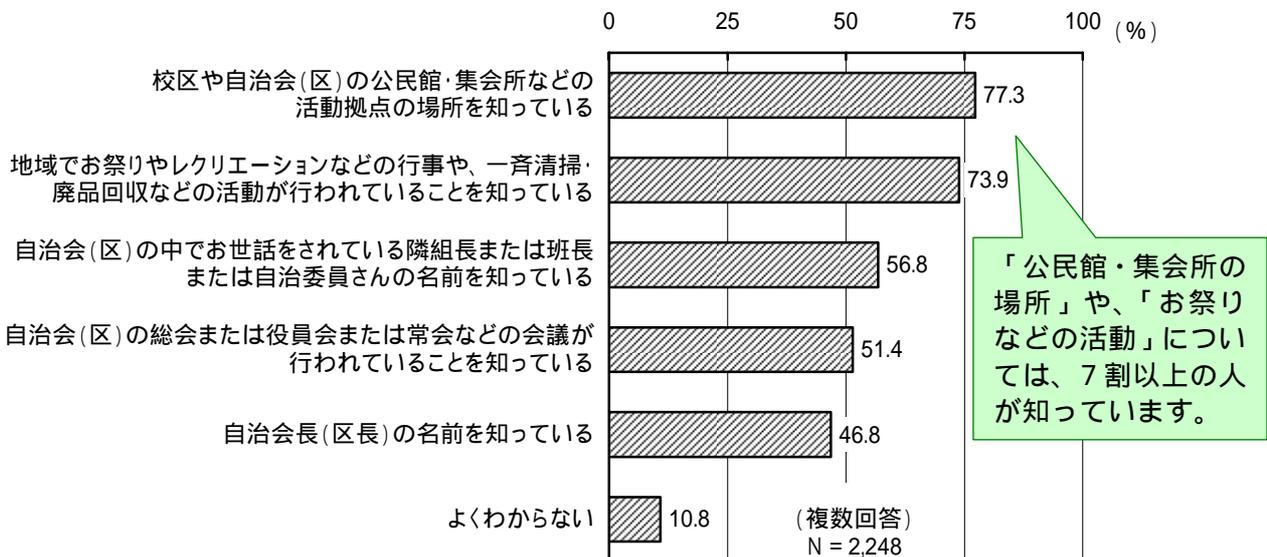
(2) 自治会(区)活動への参加状況と地域問題の解決方法・コミュニティ意識

地域で行われる活動には約7割が「参加」と回答。
一方で、若年層の参加率の低さがめだちます。

問7 あなたは、自治会(区)など地域で行われる活動(運動会、清掃活動など)に、どの程度参加されていますか。(あてはまる番号に1つだけ印)

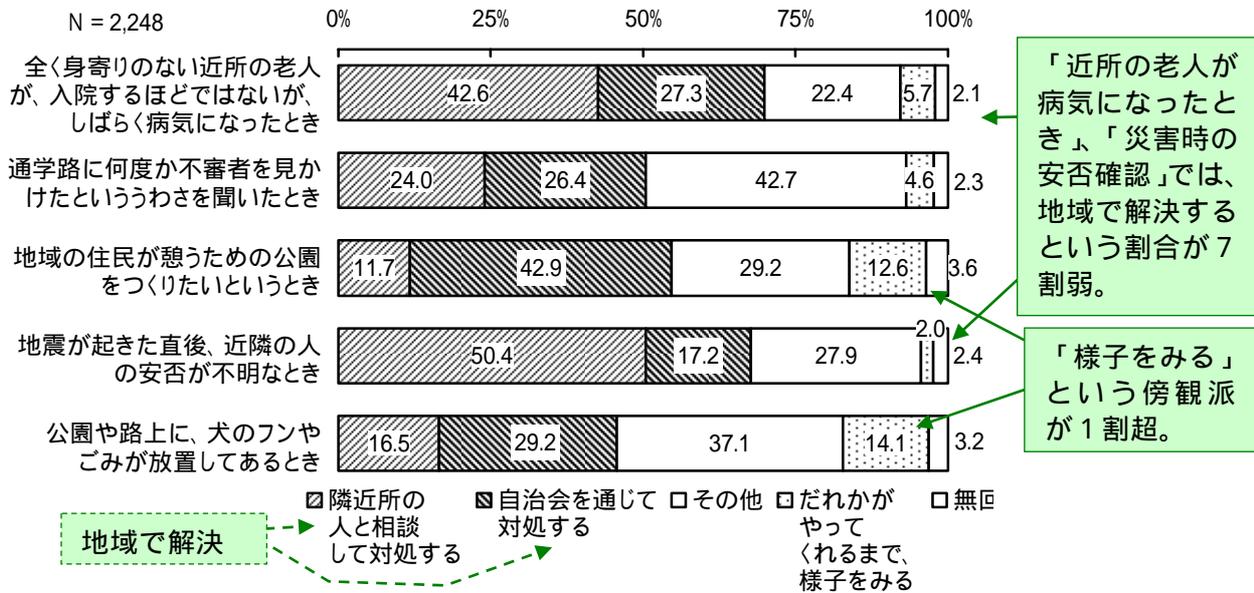


問8 あなたがお住まいの地域のことについて、次のことをご存じですか。あてはまるものをいくつかも選び、番号に印をつけてください。



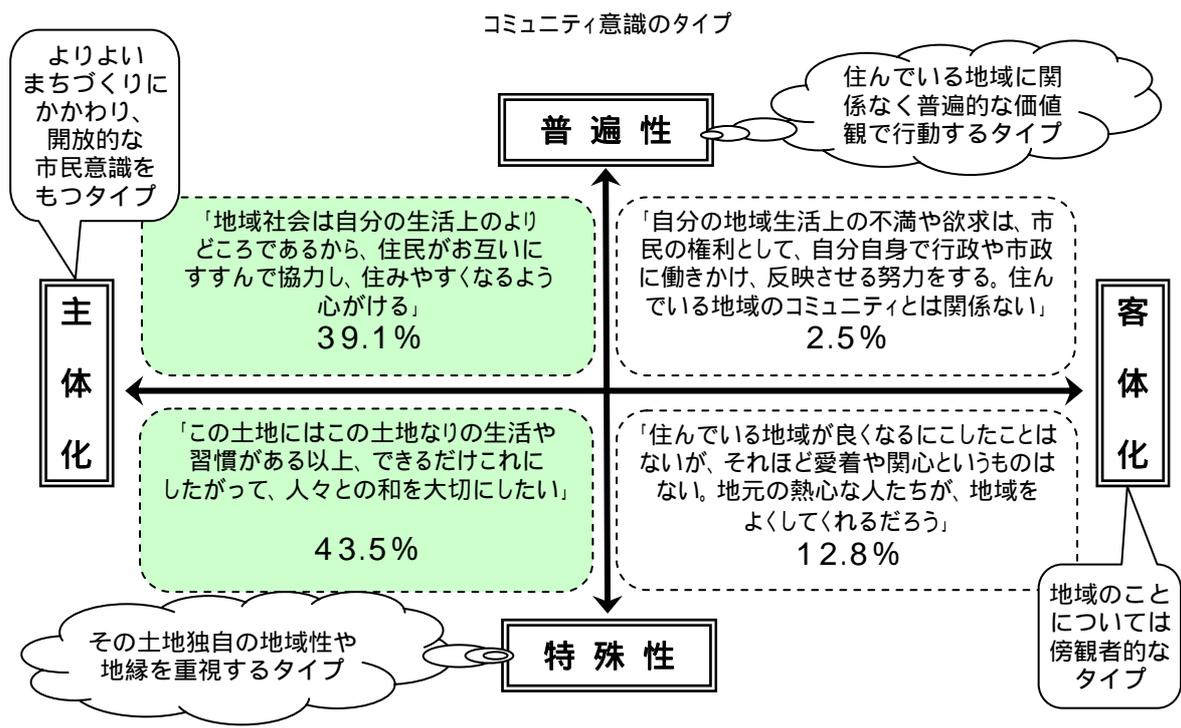
「地域の問題は地域の中で解決」という人が、半数を超えています。

問9 もし、仮にあなたが住まいの地域に次のような問題が起こったとしたら、あなたなら、どのような解決方法をとりますか。それぞれの問題に最もふさわしいと思われる解決方法を、次の項目ごとに1つずつ選び、番号に印をつけてください。



地域生活について、「自分から主体的にかかわろう」とするタイプが8割を超えています。

問10 地域生活について、次の4つの考え方があります。この中で、あなたの考え方に最も近いものを1つ選び、番号に印をつけてください。



(3) 地域活動への参加状況と今後の意向・地域活動へのかかわり方

今後力を入れるべき活動では、「防犯活動」、「青少年の健全育成」、「福祉活動」が上位3項目。一方で、これらの参加状況、参加意向は、現在のところ2割以下にとどまっています。

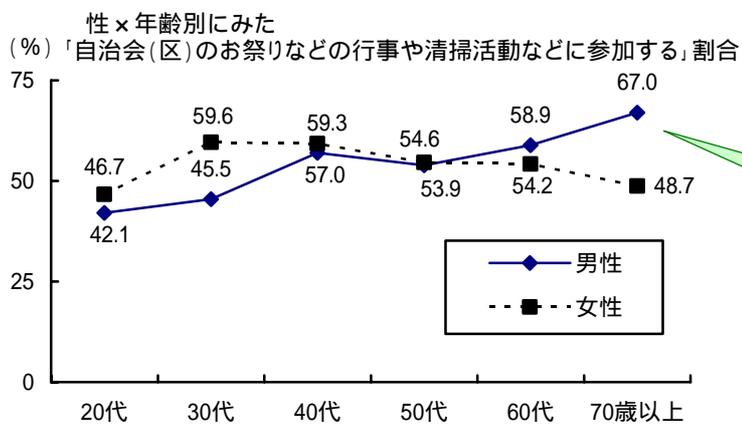
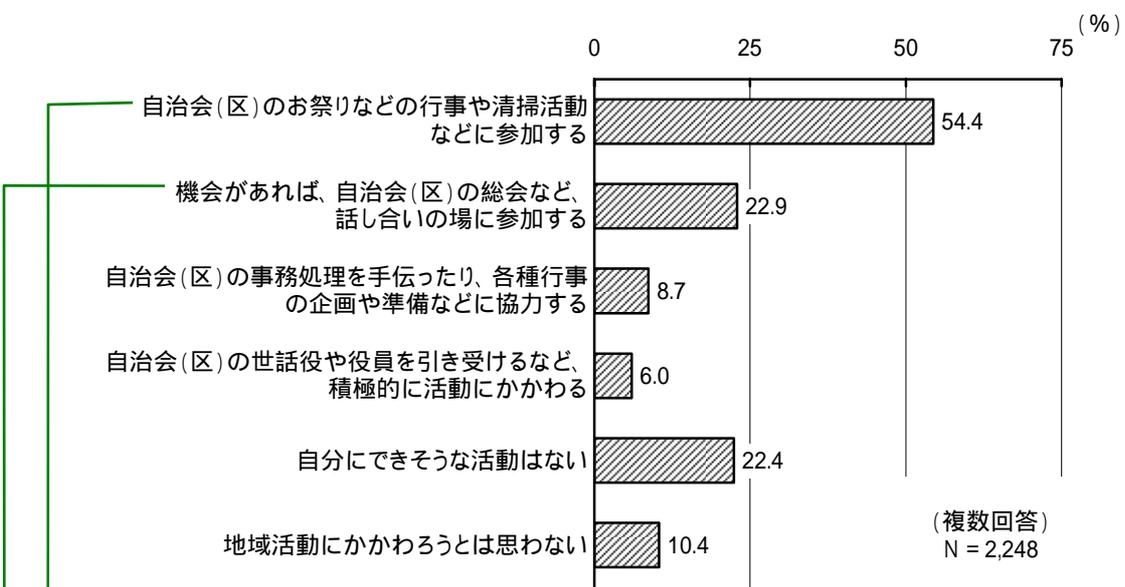
問11 あなたがお住まいの地域での活動についておたずねします。
 (ア) 次のうち、あなたが、この1年間に、**参加したことがある**地域活動は、何ですか。
 (あてはまる番号にいくつでも 印)
 (イ) あなたは、今後どのような地域活動に**参加してみたい**と思いますか。
 (ア)で「参加したことがある」活動も含みます(あてはまる番号にいくつでも 印)
 (ウ) あなたは、お住まいの地域では、今後どのような活動に**力を入れるべきだ**と思いますか。
 (あてはまる番号にいくつでも 印)

(ア)参加したことがある	(イ)今後、参加してみたい	(ウ)今後、力を入れるべき
第1位 道路や河川の美化・花づくりなどによる美しい景観づくり 32.7	生涯学習活動 29.9	防犯活動 40.6
第2位 廃品回収やリサイクルを進める環境保護活動 29.8	健康づくり活動 23.1	青少年の健全育成活動 37.3
第3位 レクリエーションなどを通じて住民の親睦を深める活動 20.7	美しい景観づくり 16.6	福祉活動 37.3
第4位 スポーツイベントやサークルを通じた健康づくり活動 20.1	住民の親睦を深める活動 16.3	子育て支援活動 30.5
第5位 子ども見守りなど、青少年の健全育成のための活動 17.4	青少年の健全育成活動 15.6	市(行政)へ要望する活動 29.8
第6位 防犯パトロールなどの防犯活動 16.4	福祉活動 15.6	防災活動 26.2
第7位 教養や趣味サークルなどの生涯学習活動 11.3	環境保護活動 11.8	環境保護活動 25.4
第8位 伝統行事や伝統的建物を保存する活動 8.0	防犯活動 11.5	美しい景観づくり 22.6
第9位 「自治会だより」の発行など地域の広報活動 7.5	伝統を保存する活動 11.2	伝統を保存する活動 20.6
第10位 初期消火訓練や防災マップ作成などの防災活動 6.9	子育て支援活動 10.9	生涯学習活動 16.9
第11位 高齢者や障がい者などに対する福祉活動 6.5	防災活動 10.8	地域の広報活動 16.2
第12位 育児相談などの子育て支援活動 4.0	市(行政)へ要望する活動 8.3	健康づくり活動 15.7
第13位 住民の不満などを調べ、市(行政)へ要望する活動 2.1	地域の広報活動 6.9	住民の親睦を深める活動 13.7

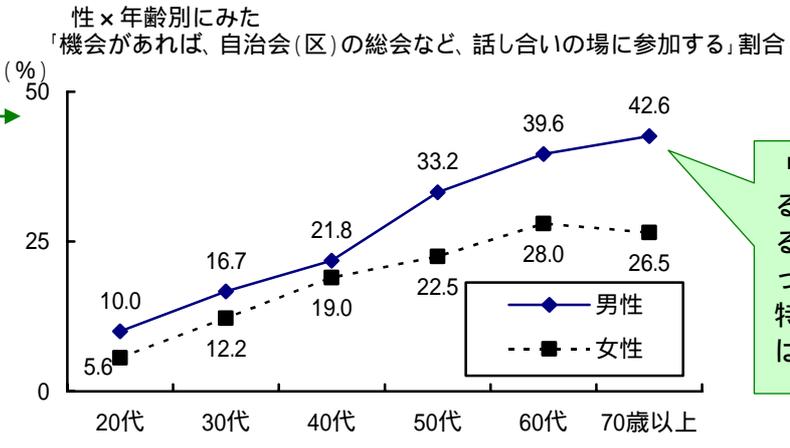
参加したことがある活動では、「美しい景観づくり」、「環境保護活動」が上位にあがっています。

今後、参加してみたい活動では、「生涯学習活動」や「健康づくり活動」など、『生きがいにかかわる活動』が人気を集めています。

問 12 地域活動のかかり方の程度についてお聞きします。あなたは、**今後どのような形で地域活動にかかりたいと思いますか。** 次のうち、あなたがやってもいいと思うものをいくつでも選び、番号に印をつけてください。



「お祭りなどの行事参加」では、40歳代までは女性の割合が高く、60歳代以上では、男性の割合が高くなっています。



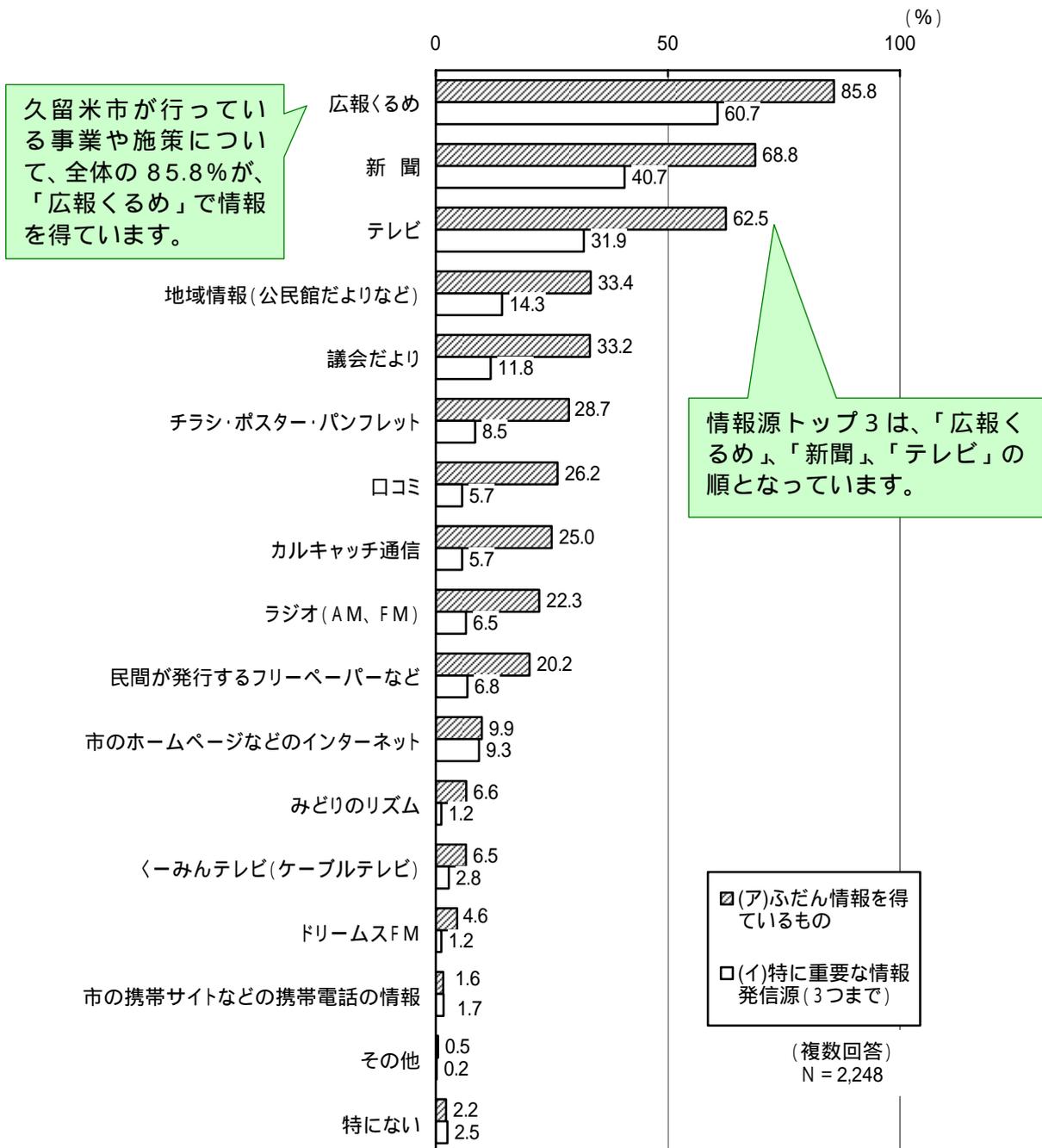
「話し合いの場に参加する」では、年齢層が高くなるにつれて割合も高くなっています。特に男性の50歳代以上では3割を超えています。

3. 広 報

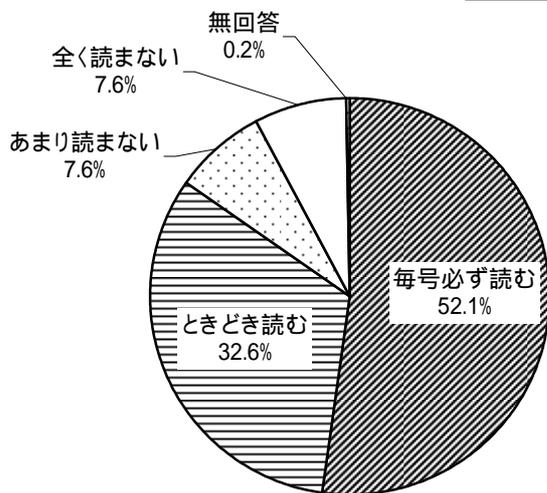
(1) 久留米市政に関する情報発信源・「広報くるめ」の閲読状況

「広報くるめ」を「毎号必ず読む」人が過半数。
市の情報や施策を伝えるための、最も重要な情報源となっています。

問 13 (ア)あなたは久留米市が行っている事業や施策について、ふだんどころから情報を得ていますか。次の中からいくつでも選び、番号に○印をつけてください。
(イ)あなたにとって、市の情報を得るために重要なものは何ですか。次の中から3つまで(1つでも2つでもよいです)選び、番号に○印をつけてください。



問 14 あなたは、現在「広報くるめ」をどの程度読んでいますか。(ホームページの閲覧も含みます)(あてはまる番号に1つだけ 印)

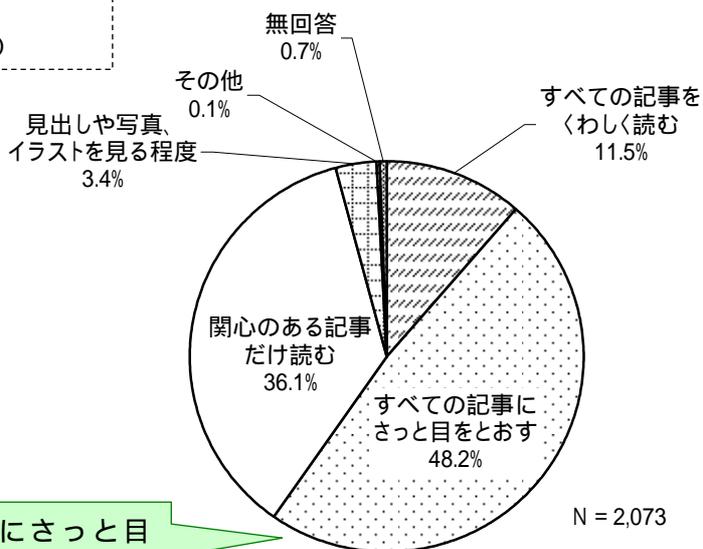


「毎号必ず読む」と「ときどき読む」を合計すると、約 85% となっています。

N = 2,248

「毎号必ず読む」、「ときどき読む」に「あまり読まない」を含めた「広報くるめ」を読むことがある方に

付問 1 あなたは、「広報くるめ」をどの程度くわしく読んでいますか。(あてはまる番号に1つだけ 印)



「すべての記事にさっと目をとおす」が 48.2% と最も多くなっています。

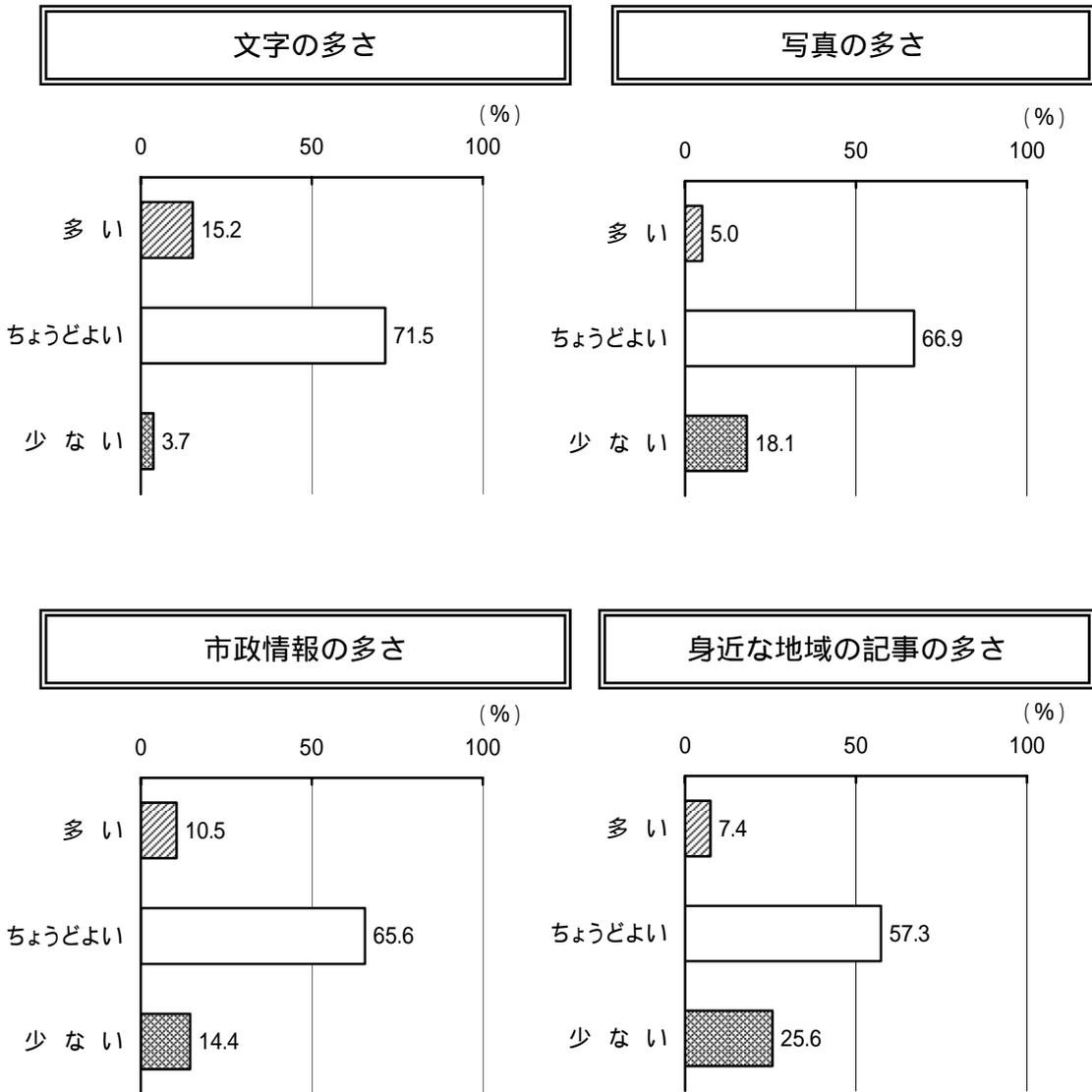
N = 2,073

(2) 「広報くるめ」の印象・内容についての評価

「広報くるめ」の紙面の印象は、多くの人から良い評価を受けています。

問 15 「**広報くるめ**」の**印象**について、あなたはどちらの意見に近いですか。次の項目ごとにそれぞれ1つずつ選び、番号に印をつけてください。

「広報くるめ」の印象(抜粋)



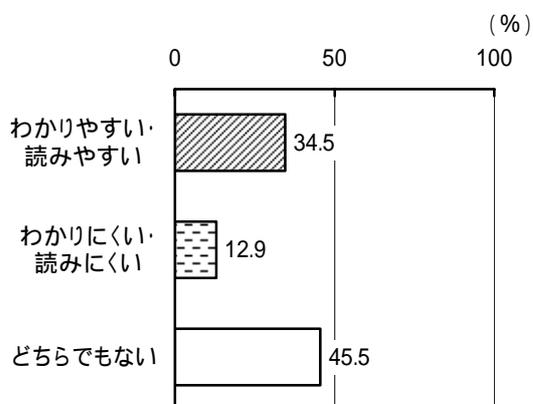
N = 2,248

「広報くるめ」の内容については「わかりやすい」「親しみやすい」という声がある一方で、さらなる改善の余地もみられます。

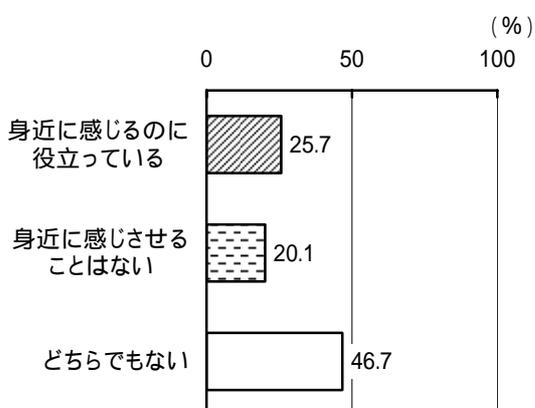
問 16 次に、「広報くるめ」の内容について、あなたはどちらの意見に近いですか。次の項目ごとにそれぞれ 1つずつ 選び、番号に 印をつけてください。

「広報くるめ」の内容(抜粋)

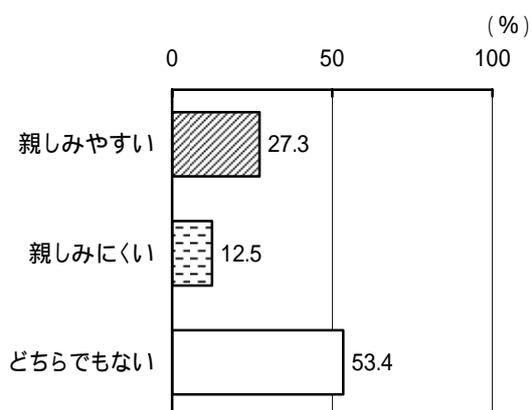
掲載記事のわかりやすさ



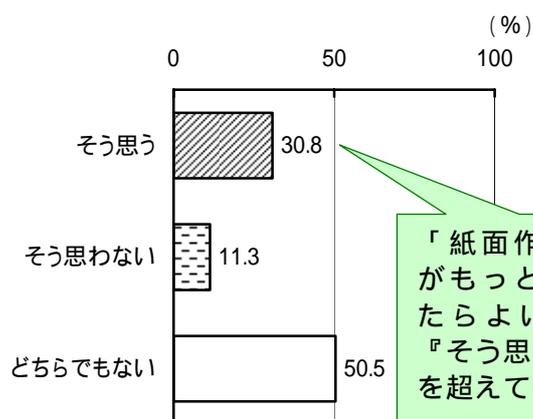
行政の取り組みを身近に感じさせるか



親しみやすさ



紙面作成に市民がもっとかかわったらよいと思うか



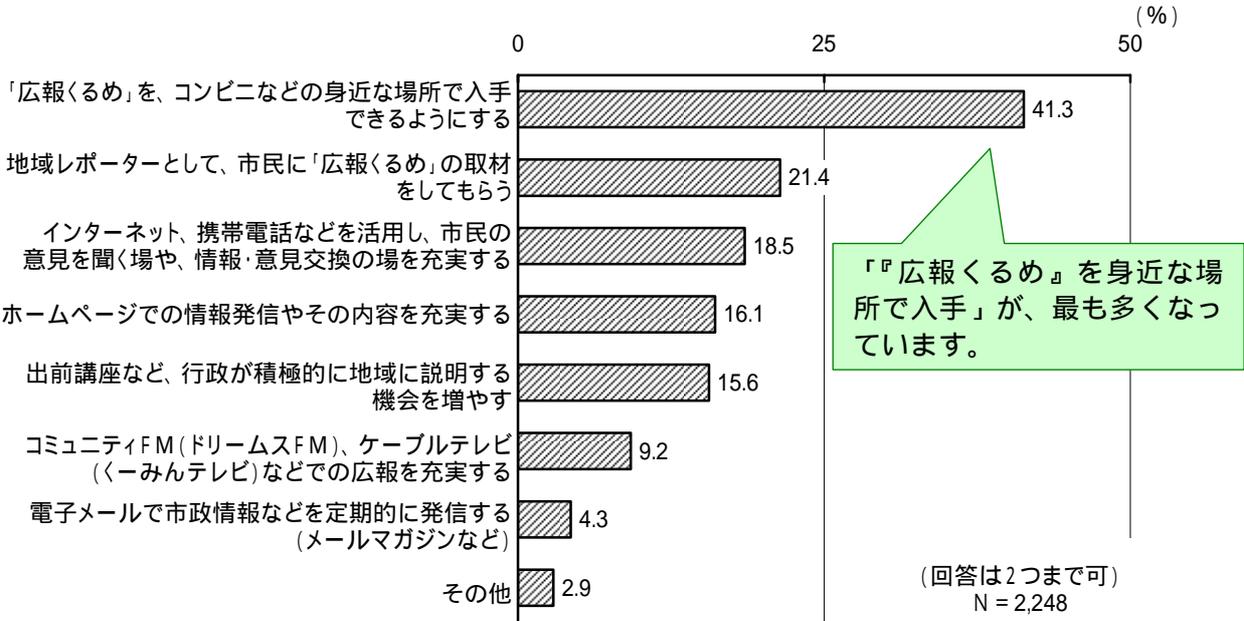
「紙面作成に市民がもっとかかわったらよい」では、『そう思う』が3割を超えています。

N = 2,248

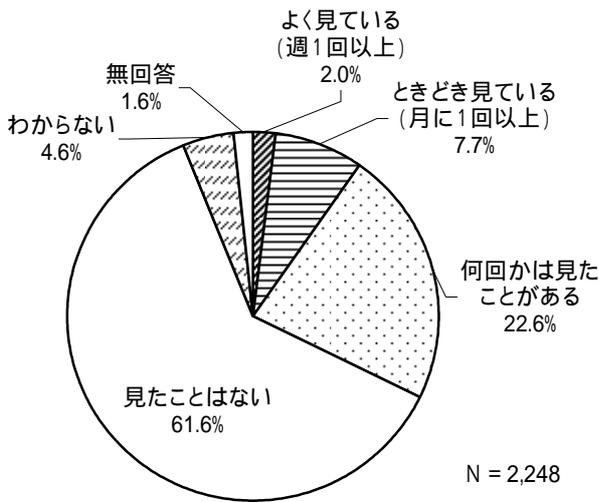
(3) 情報入手の手段

久留米市のホームページを『見たことがある』は、3割を超えています。

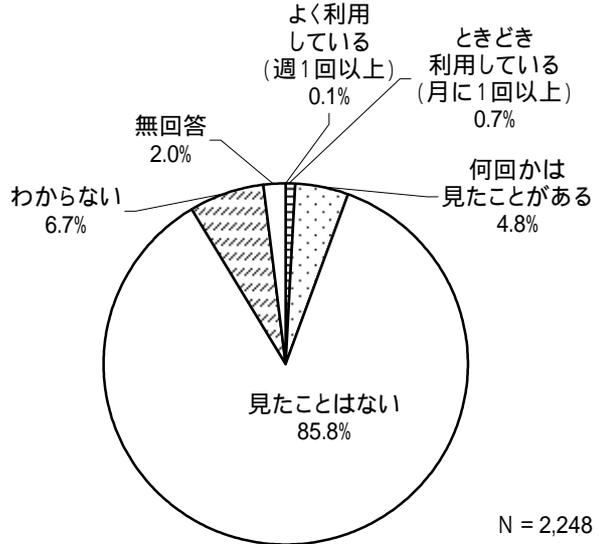
問 17 市民に、市の取り組みなどを、より理解してもらうためには、どのような方法が有効だと思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで(1つでもよい)選び、番号に○印をつけてください。



問 18 あなたは、久留米市のホームページを見たことがありますか。(あてはまる番号に1つだけ印)



問 19 あなたは、久留米市の携帯サイト(くるめ市政ナビ)を利用したことがありますか。(あてはまる番号に1つだけ印)

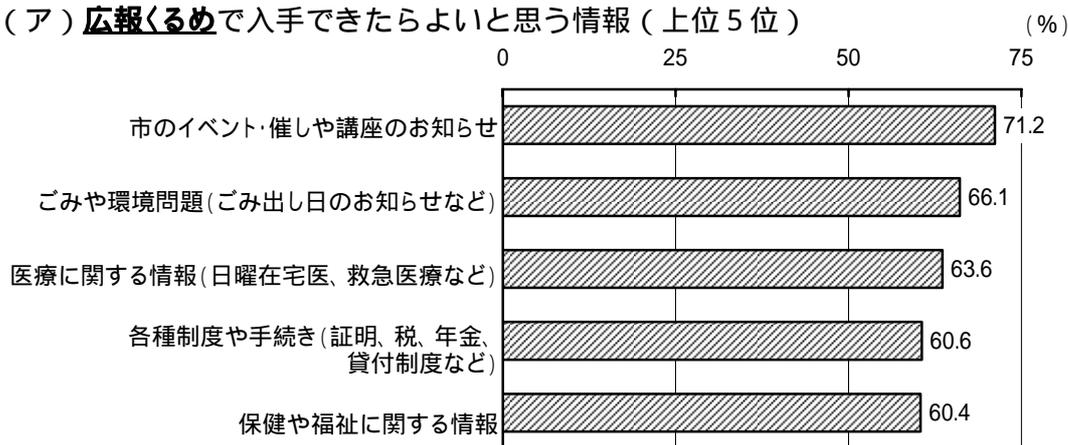


久留米市公式ホームページ: <http://www.city.kurume.fukuoka.jp/>
 久留米市の携帯サイト(くるめ市政ナビ)
 [i-mode]「メニューリスト」「タウン情報/行政」でアクセス
 [Yahoo!ケータイ]「メニューリスト」「地域メニュー」「九州・沖縄」「行政」でアクセス
 [EZweb]「カテゴリで探す(EZインターネット)」「ライフ」「行政サービス」「九州」でアクセス

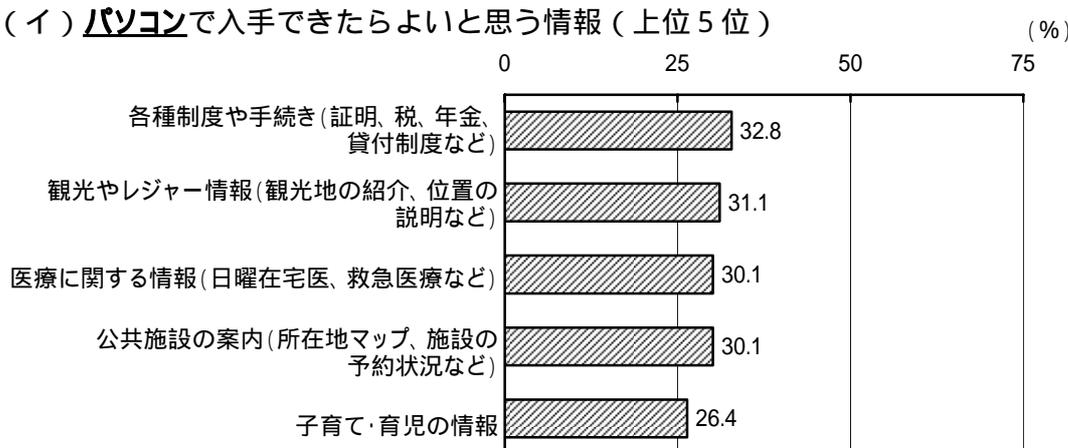
パソコンでは「各種制度や手続き」、携帯電話では「医療」「防災・防犯」に関する情報を提供してほしいという声が多くあがっています。

問 20 久留米市に関する情報のなかで、広報くるめ、パソコン、携帯電話を使って入手できたらよいと思う情報は何か。利用手段（ア）広報くるめ、（イ）パソコン、（ウ）携帯電話それぞれに、次の中からいくつでも選び、番号に○印をつけてください。

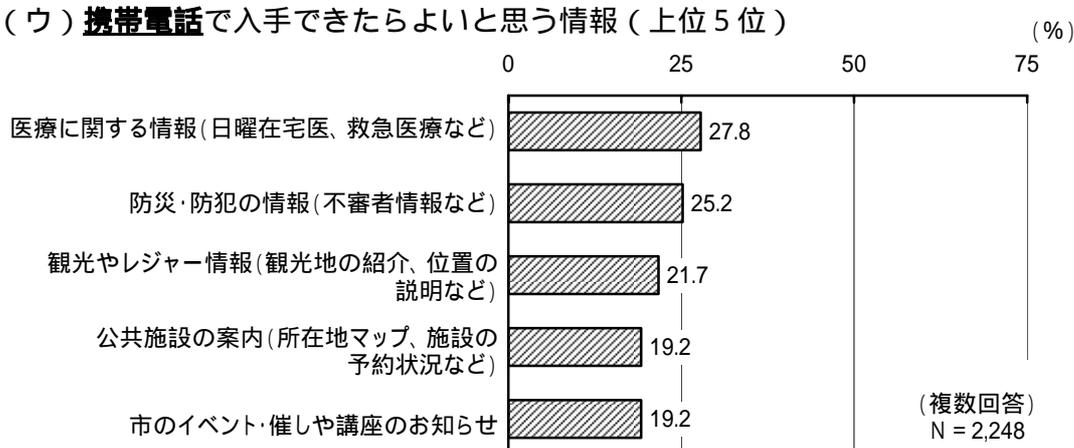
（ア）**広報くるめ**で入手できたらよいと思う情報（上位5位）



（イ）**パソコン**で入手できたらよいと思う情報（上位5位）



（ウ）**携帯電話**で入手できたらよいと思う情報（上位5位）

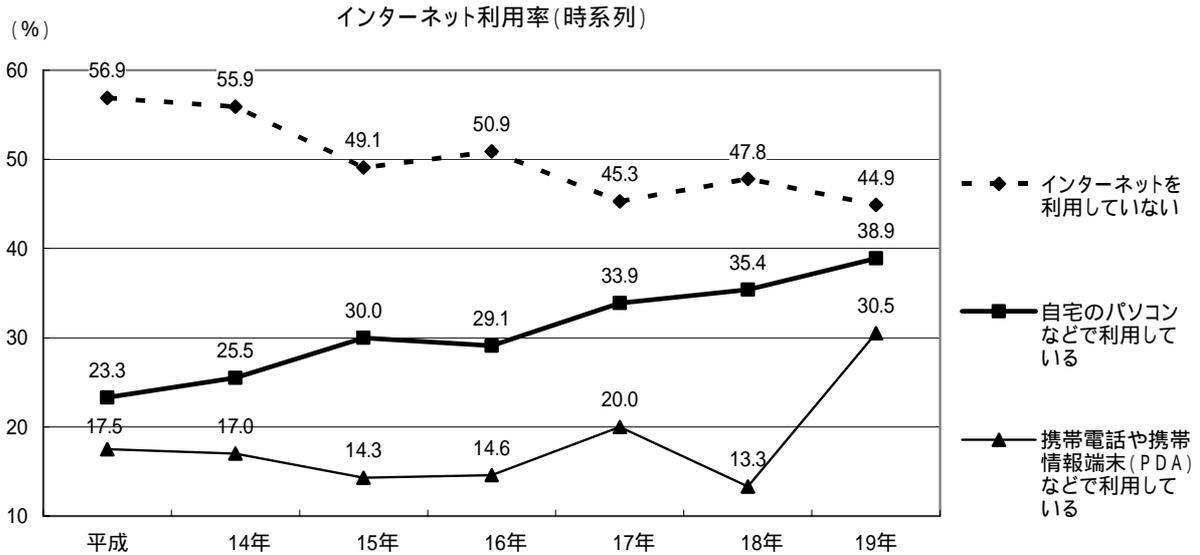


4. 地域情報化

(1) インターネットの利用状況・頻度・目的

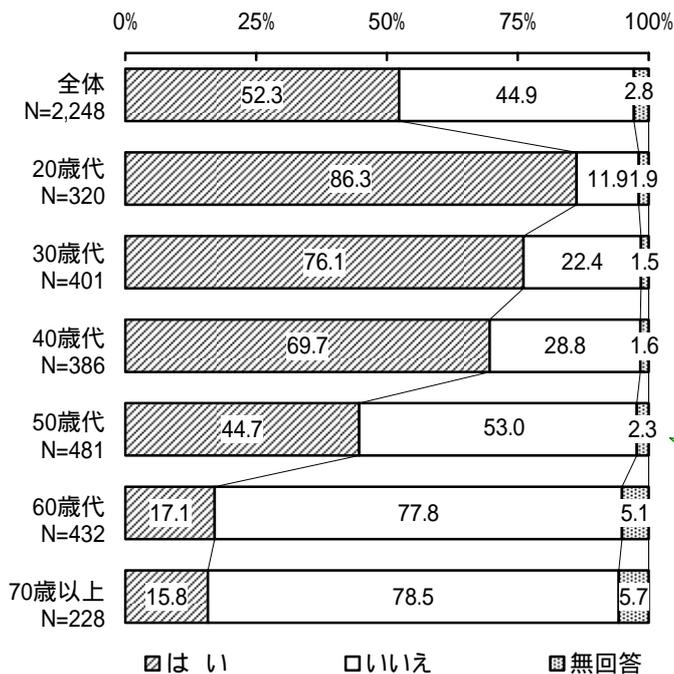
インターネットの利用率は、年々増加し、5割を超えています。

問 21 あなたは、この1年間にインターネットを利用したことがありますか。(対象者本人)



平成19年調査では、インターネット利用に携帯電話のメール利用が含まれることを明示している
平成16年以前の調査範囲は旧久留米市地域のみ

全体、年齢別にみたインターネットの利用状況

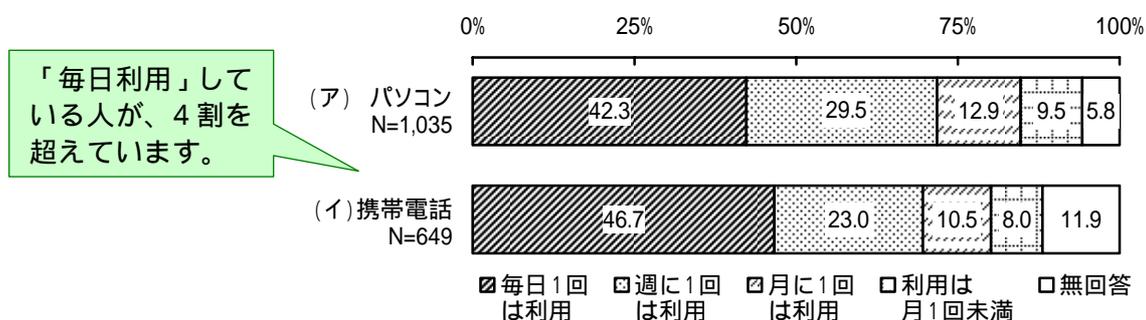


50歳代以上では、利用率が5割を下回り、60歳代以上では2割以下になっています。

この質問は、この1年間にインターネットを利用した方にお聞きします。

付問2 どのくらいの頻度でインターネットを利用しましたか。利用手段(ア)パソコン、(イ)携帯電話(PHS含む)それぞれに1つずつ選び、番号に印を付けてください。

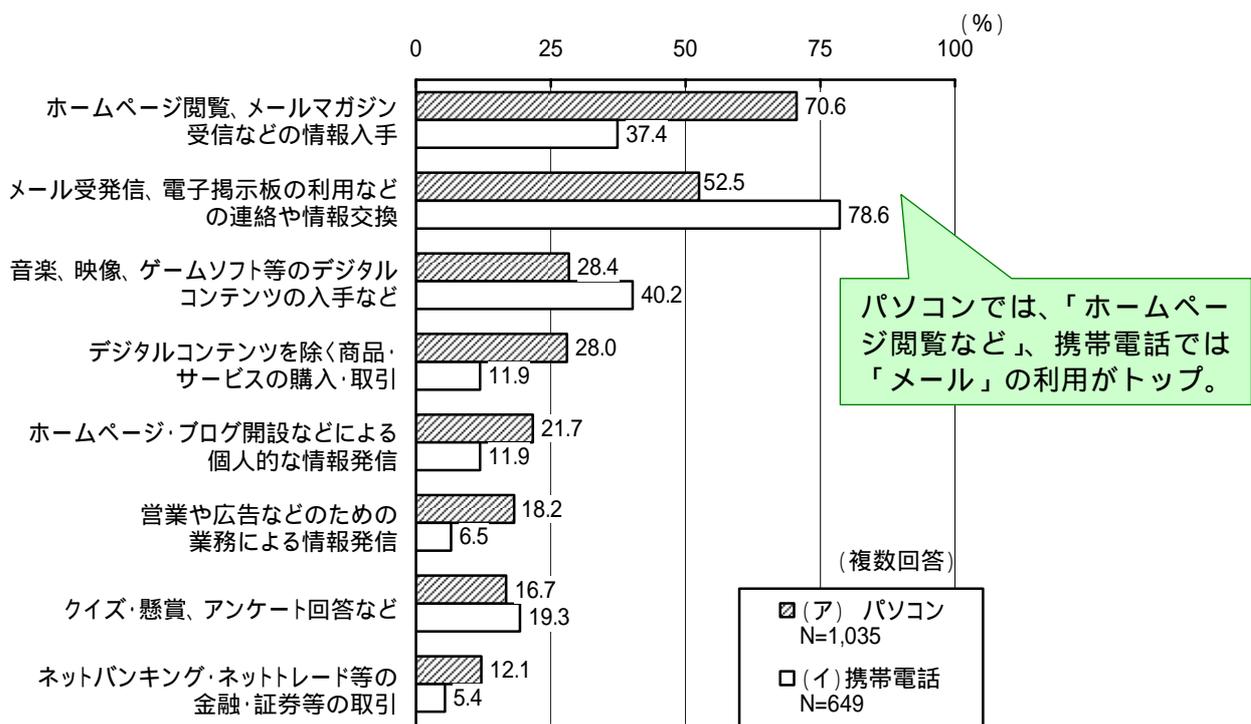
パソコン・携帯電話利用別にみたインターネットの利用頻度



「毎日利用」している人が、4割を超えています。

付問3 この1年間にインターネットをどのような目的・用途で利用しましたか。利用手段(ア)パソコン、(イ)携帯電話(PHS含む)それぞれに、あてはまるものをいくつでも選び、番号に印をつけてください。

パソコン・携帯電話利用別にみた利用目的(主な項目)

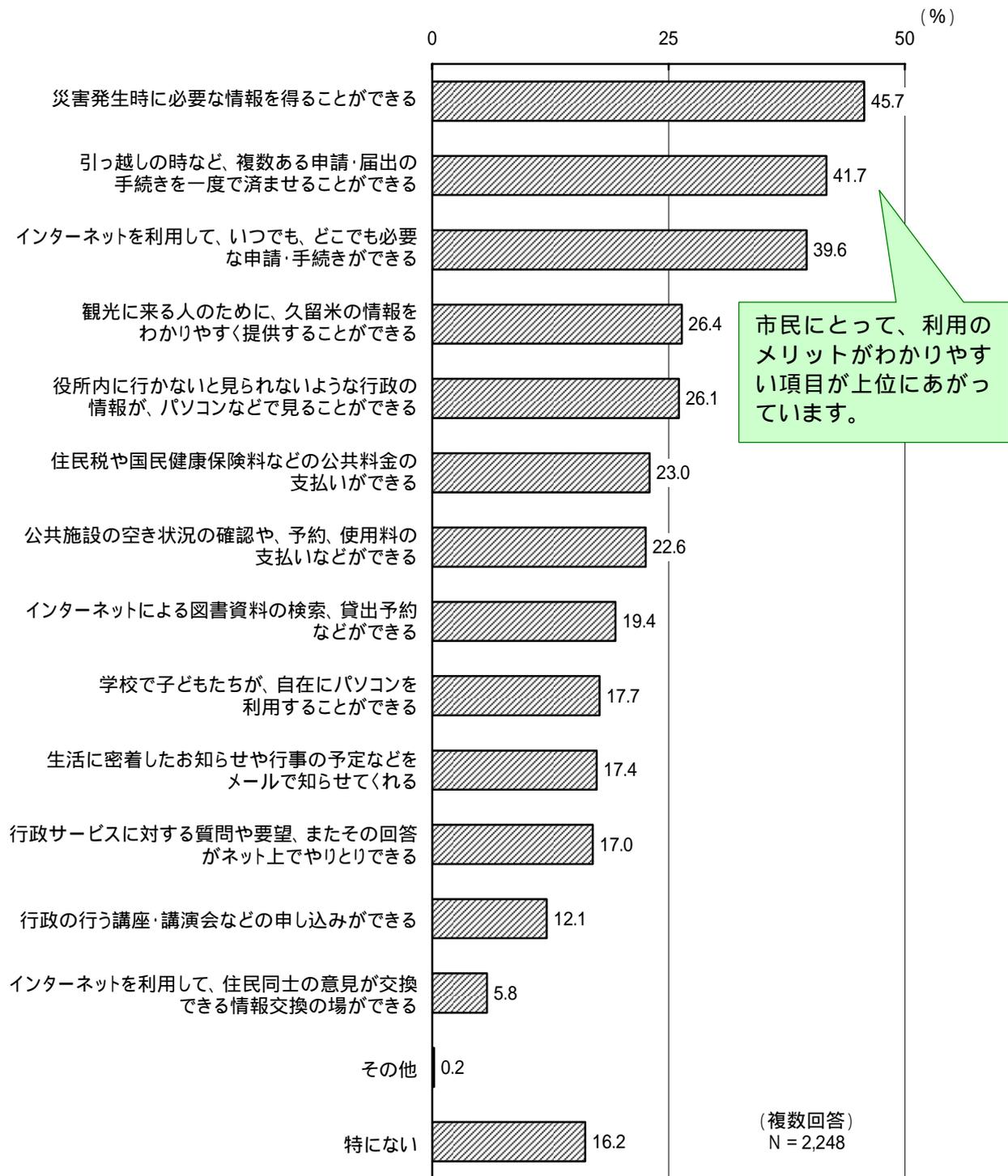


パソコンでは、「ホームページ閲覧など」、携帯電話では「メール」の利用がトップ。

(2) 今後期待できるITを活用した行政サービス

「災害発生時に必要な情報を得ること」が、ITを活用した行政サービスのなかで、最も期待されています。

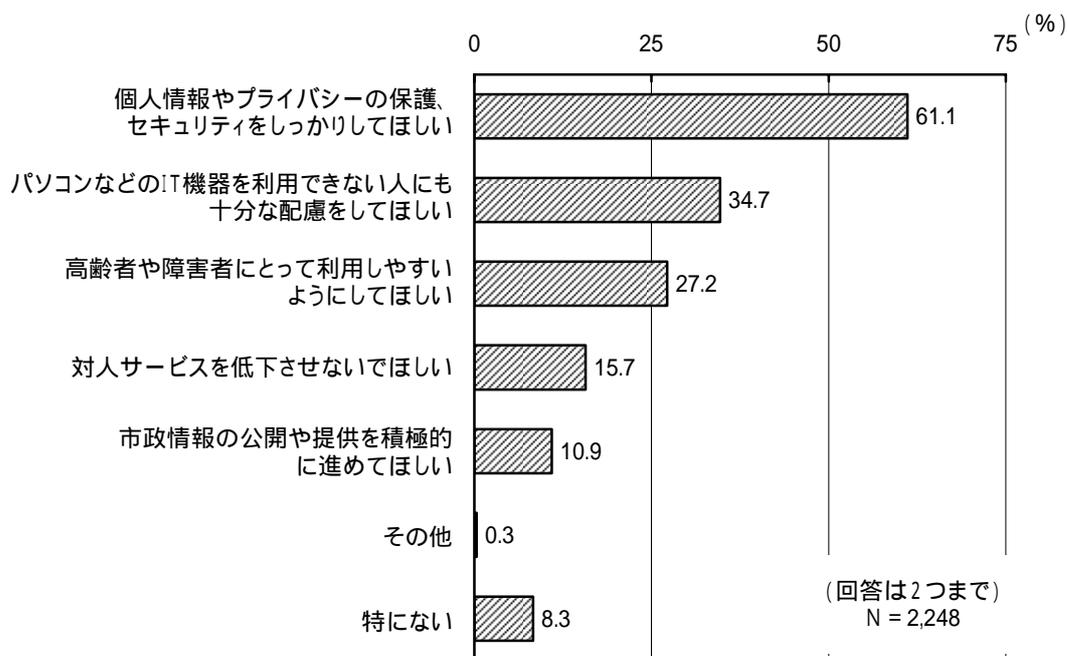
問 24 久留米市では現在、さまざまな場面でIT（情報通信技術）を活用し、より利便性を高める取り組みを進めています。
次にあげるようなITを活用した行政サービスのうち、あなたが**特に期待したいもの**はどのようなことですか。次の中からいくつでも選び、番号に○印をつけてください。



(3) 配慮してほしいこと

配慮してほしいこととしては、「個人情報やプライバシーの保護」が最も多くなっています。

問 25 IT (情報通信技術) を活用した行政サービスを推進していく上で、特に**配慮して欲しいこと**は何ですか。次の中から2つまで (1つでもよい) 選び、番号に○印をつけてください。



市民意識調査の詳しい分析結果は.....

調査報告書を市内公共施設に設置します。

調査結果を詳しく分析した調査報告書を作成し、市内の公共施設に閲覧用の調査報告書を設置します (平成 20 年 3 月下旬頃)。どなたでもご覧いただくことができます。

市のホームページでも報告書をご覧いただけます。

市のホームページ最上部に「市民意識調査」と入力し、「検索」をクリックしてください。市民意識調査の項目が表示されますので、クリックしてください。

また、下記 URL を入力していただいてもご覧いただけます。

http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1550shisei_kouhokoutyou/2020koutyou/ishiki.html

調査報告書は市庁舎 1 階の行政資料コーナーで販売する予定です。(有料、データ CD 付)

調査対象者の構成

N=2,248		回収数 (票)	比率 (%)
性別	男性	1,015	45.2
	女性	1,233	54.8
年齢	20歳代	320	14.2
	30歳代	401	17.8
	40歳代	386	17.2
	50歳代	481	21.4
	60歳代	432	19.2
	70歳以上	228	10.1
	無回答		
家族構成	単身	152	6.8
	夫婦だけ	403	17.9
	親・子	1,137	50.6
	親・子・孫	493	21.9
	その他	61	2.7
無回答	2	0.1	

子どもがいる対象者に

N=1,691		回収数 (票)	比率 (%)
(複数回答) 子どもの状況	未就学児	304	18.0
	小学生	331	19.6
	中学生	188	11.1
	中学生以下の同居人はいない	1,000	59.1
	無回答	48	2.8

N=2,248		回収数 (票)	比率 (%)
職業	農林漁業	79	3.5
	自営業	244	10.9
	給与所得者(常勤)	845	37.6
	パート・アルバイト(学生は除く)	286	12.7
	学生	49	2.2
	家事に専念している主婦(夫)	347	15.4
	無職	374	16.6
	その他	16	0.7
	無回答	8	0.4
居住年数別	5年未満	362	16.1
	5～10年未満	269	12.0
	10～20年	383	17.0
	20～30年未満	488	21.7
	30～40年未満	317	14.1
	40年以上	425	18.9
	無回答	4	0.2
居住形態別	持ち家・一戸建て	1,521	67.7
	持ち家・集合住宅 (分譲マンション)	125	5.6
	借家住宅・一戸建て	155	6.9
	賃貸住宅・アパート、マンション	382	17.0
	勤務先給与住宅(公務員 住宅・社宅・寮など)	44	2.0
	間借り・同居、その他	21	0.9
	無回答	-	-

本調査結果について

比率は百分率(%)で、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、合計の比率が0.1～0.3%程度増減することがあります。

2つ以上の回答(複数回答)を求めたものについては、比率の合計は100%を超えます。

数表、図表に示すNとは、比率を算出する上での基数(標本数)のことです。

本速報版は、調査結果の一部を簡潔に整理して、その概要をお知らせするものです。すべての質問についての詳細な分析や考察、使用した調査票などは、後日刊行する本報告書に掲載します。

第 31 回(平成 19 年度)

久留米市民意識調査報告書 速報版

発行 / 久留米市企画財政部広報広聴課
久留米市城南町 1 5 番地 3

TEL . 0942 - 30 - 9015

FAX . 0942 - 30 - 9702

E-Mail . kouhou@city.kurume.fukuoka.jp